

幼稚園給食(実際に提供した給食)検査の結果について

こども部保育運営課

- 1 検査機関: 一般財団法人 材料科学技術振興財団
- 2 検査方法: (1) ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリーによる核種分析
(2) 幼稚園で実際に提供した給食を1週間(原則5日)分ごとに検査
- 3 採取期間: 平成 26 年 10 月 6 日 ~ 26 年 10 月 10 日
- 4 検査日: 平成 26 年 10 月 16 日
- 5 その他: (1)検出下限値とはこの検査機器で検出することが出来る最小の値であり, 検査環境, 検体の状態等によって一定ではありません。
(2)算出に当たっては, 経口摂取による実効線量係数(mSv/Bq), 幼稚園は2~7歳(幼児)の係数(厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課・緊急時における食品の放射能測定マニュアルより引用)を使用しました。
(3)預託実効線量とは, 20歳以下の子どもは70歳になるまでに被ばくする線量, 大人は内部被ばくしてから50年間に被ばくする線量です。
(4)検査にはおよそ2kg程度の検体が必要なため, 1週間分の給食がそれに満たない場合は2食分以上の検体にて検査をしました。(食数及び日数については下表のとおり)

6 検査結果及び内部被ばくの預託実効線量

園No	園名	検体	喫食総重量(kg)	測定結果(Bq/kg) (下段:検査下限値)		放射性セシウム内部被ばく預託実効線量(mSv)
				放射性セシウム134	放射性セシウム137	
1	株式会社さんQ※1	各4食×3日分	2.24	不検出 1.06	不検出 1.25	0~0.000015

※1 市内の私立幼稚園に給食を提供している給食会社(提供先は別紙のとおり)

【算出根拠】

$$\text{計算式} : \text{「検出下限値(Bq/Kg)」} \times \text{「実効線量係数(mSv/Bq)」} \times \text{「総重量(Kg)」} \div \text{「食数」} \\ = \text{放射性セシウム内部被ばく預託実効線量(mSv)}$$

【計算式】

業者No.	セシウム134			+	セシウム137) ÷	一日当たり食数	=	放射性セシウムの内部被ばく預託実効線量(mSv)					
	(検出下限値(Bq/kg)	×	2~7歳の実効線量係数	×	総重量(kg)	(検出下限値(Bq/kg)	×	2~7歳の実効線量係数	×	総重量(kg)
1	(1.06	×	0.000013	×	2.24	+	1.25	×	0.0000097	×	2.24) ÷	4	≡	0.000015

各私立幼稚園の給食実施状況

自園調理	柏めぐみ幼稚園
	柏みどり幼稚園
株式会社幼稚園給食	南柏幼稚園
	柏幼稚園
	すみれ幼稚園
	豊四季幼稚園
	柏陽幼稚園
	沼南幼稚園
	田中幼稚園
	手賀の丘幼稚園
	松ヶ崎幼稚園
	くりの木幼稚園
	ホザナ幼稚園
	高柳台幼稚園
	大津ヶ丘幼稚園
	さかいね幼稚園
	晴山幼稚園
	風早幼稚園
松葉幼稚園	
株式会社東部給食センター	ますお幼稚園
	吉田幼稚園
	百合園幼稚園
	柏こぼと幼稚園
	第二ますお幼稚園
	加賀幼稚園
企業組合ワーカーズあい・惣菜	とみせ幼稚園
株式会社わくわく広場	柏さくら幼稚園
NKCフードサービス	柏ひがし幼稚園
株式会社メフォス	にしはら幼稚園
株式会社さんQ※1	くるみ幼稚園
	きたかしわ幼稚園
給食なし	みくに幼稚園
	麗澤幼稚園

(※ 1 1月から給食実施予定)